

IV-3 関東

東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を視野に入れた訪日外国人対応の動きが引き続き各地で活発

(1) 都道府県レベルの旅行者動向

① 宿泊者数の動向

観光庁「宿泊旅行統計調査」によると、16年1～12月の関東地方の延べ宿泊者数は1億4,574万人泊で、前年比1.9%減と、昨年の伸び率6.5%増からやや減少に転じた(図IV-3-1)。

都県別に見ても埼玉県が前年比3.3%、栃木県が0.3%増加したものの、他はいずれも減少傾向を示した。減少幅の最も大きい千葉県で3.1%減、次いで東京都2.7%減、茨城県2.3%減、群馬県2.0%減であり、その他は2.0%未満の減少幅であった。千葉県については東京ディズニーリゾートの入園者数が2年連続(年度ベース)で減少したこととの連動が考えられる。また神奈川県は1.7%減(前年は0.7%減)で、箱根山の火山活動を受けて15年5月以降運休していた箱根ロープウェイの全線営業運転再開が16年7月までかかったことが影響したと考えられる。

外国人延べ宿泊者数は2,606万人泊で、前年比2.3%増にとど

まり、前年(35.2%増)から大きく減速した(図IV-3-2)。

都県別にみるとその増減の振れ幅は大きく、群馬県、茨城県、栃木県の北関東三県がそれぞれ33.7%、11.9%、9.0%の増加を示す一方で、神奈川県は0.2%増、千葉県は4.4%減であった。都心部および周辺部の宿泊キャパシティが不足気味であることと、日本の地方へ興味を抱く外国人の増加が同時進行した可能性が考えられる。

(2) 観光地の主要な動き

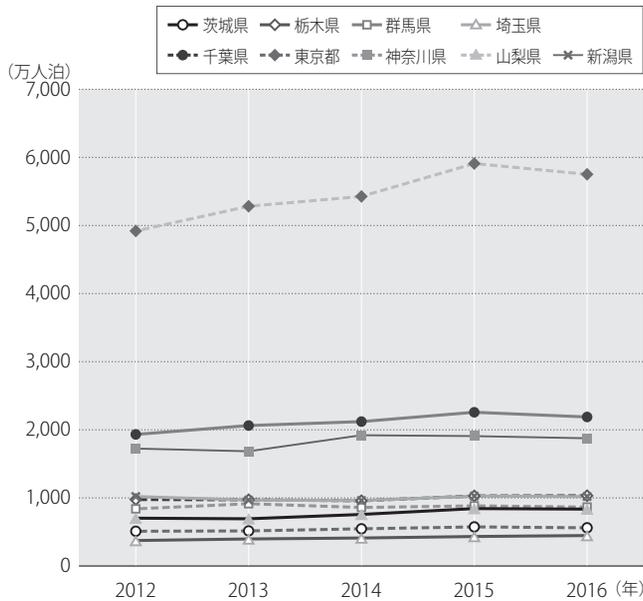
① 地方・都道府県レベル

● 東京のホテル開業ラッシュ

訪日外国人観光客の急増に伴い、大都市を中心に宿泊容量の不足が指摘されてきた。宿泊旅行統計調査(観光庁)によると、16年の宿泊施設全タイプ平均の客室稼働率はトップの大阪府(83.3%)に続いて東京都(78.8%)が第2位、さらに福岡県(70.8%)、愛知県(70.2%)、神奈川県(67.8%)、京都府(67.3%)と続く。

こうした状況の下、今後も引き続き訪日外国人観光客数の増加が見込まれること、20年に東京オリンピック・パラリンピック競技

図IV-3-1 延べ宿泊者数の推移(関東)

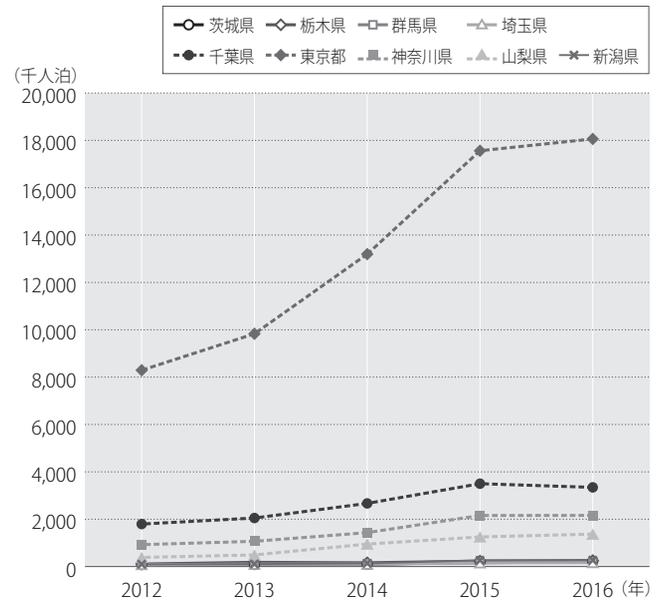


茨城県	510	515	546	574	561
栃木県	976	972	958	1,029	1,032
群馬県	839	914	859	883	865
埼玉県	374	397	411	433	447
千葉県	1,932	2,062	2,120	2,257	2,188
東京都	4,919	5,282	5,426	5,909	5,751
神奈川県	1,724	1,684	1,920	1,907	1,875
山梨県	702	693	757	843	835
新潟県	1,020	968	961	1,026	1,020

単位: 万人泊

資料: 観光庁「平成28年宿泊旅行統計調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

図IV-3-2 外国人延べ宿泊者数の推移(関東)



茨城県	89	88	94	201	225
栃木県	107	179	159	232	252
群馬県	69	109	112	160	214
埼玉県	88	98	99	159	170
千葉県	1,795	2,050	2,667	3,500	3,345
東京都	8,292	9,831	13,195	17,561	18,060
神奈川県	925	1,067	1,433	2,156	2,161
山梨県	387	492	949	1,252	1,371
新潟県	97	107	136	263	267

単位: 千人泊

資料: 観光庁「平成28年宿泊旅行統計調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

表IV-3-1 東京都内に開業した主な宿泊施設

施設名称	所在地	室数	開業時期	施設名称	所在地	室数	開業時期
ホテルアラマンダ青山	港区	30	2016年6月1日	ホテルリブマックス茅場町	中央区	102	2016年12月23日
アパホテル巣鴨駅前	豊島区	512	2016年6月17日	ホテルウイングインターナショナルセレクト浅草駒形	台東区	69	2016年12月26日
ホテルユニゾン銀座七丁目	中央区	224	2016年6月20日	東横INN 東京大手町A1	千代田区	131	2017年1月12日
京急EXイン 泉岳寺駅前	港区	120	2016年6月23日	アパホテル<飯田橋駅前>	千代田区	163	2017年2月1日
ホテルリブマックス葛西駅前	江戸川区	57	2016年7月15日	アパホテル<新富町駅北>	中央区	98	2017年2月1日
星のや東京	千代田区	84	2016年7月20日	ホテル グランティオス別邸	品川区	36	2017年2月20日
ユニゾンイン八丁堀	中央区	147	2016年7月21日	アパホテル<東新宿 歌舞伎町東>	新宿区	129	2017年3月3日
ザ・プリンスギャラリー東京紀尾井町	千代田区	250	2016年7月27日	レム六本木	港区	400	2017年3月30日
芝パークホテル151(現・芝パークホテル)	港区	70	2016年8月1日	ホテルリブマックス東京馬喰町	中央区	63	2017年3月25日
京急EXイン 東銀座	中央区	198	2016年8月25日	アスコット丸の内東京	千代田区	130	2017年3月30日
三井ガーデンホテル京橋	中央区	233	2016年9月1日	WIRED HOTEL ASAKUSA	台東区	30	2017年4月1日
ホテルJALシティ羽田東京ウエストウイング	大田区	103	2016年9月1日	ベストウエスタン東京西葛西グランデ	江戸川区	105	2017年4月1日
ドーミーインPREMIUM 東京小伝馬町	中央区	134	2016年9月6日	コンフォートホテル東京東神田	千代田区	188	2017年4月11日
相鉄フレッサイн 銀座7丁目	中央区	286	2016年10月1日	LYURO 東京清澄 THE SHARE HOTELS	江東区	23	2017年4月11日
相鉄フレッサイн 新橋日比谷口別館	港区	71	2016年10月1日	ホテルリブマックス東京潮見駅前	江東区	88	2017年4月20日
アパホテル<御茶ノ水駅北>	文京区	187	2016年11月4日	東横INN 東京駅八重洲北口	中央区	101	2017年4月27日
アパホテル<TKP日暮里駅前>	荒川区	278	2016年12月1日	TRUNK HOTEL	渋谷区	15	2017年5月13日
スーパーホテル東京・錦糸町駅前	墨田区	113	2016年12月13日				

資料：オータパブリケーションズ「週刊ホテルレストラン」

大会の開催を控えていること等から、都内各地区で宿泊施設の新規開業(表IV-3-1)やリニューアルが続く。16年4月から17年3月までの新規開業分だけで35軒、4千5百室弱と大幅な宿泊容量の増加となった。

その内訳を見ると、「星のや東京」「ザ・プリンスギャラリー東京紀尾井町」など国内資本によるラグジュアリーホテルの開業と、他方でアパホテルをはじめとするリーズナブルな施設群の大幅なボリューム増、さらにそれらの施設の進出エリアの分散が特徴である(表IV-3-1)。

●「都民ファーストでつくる『新しい東京』～2020年に向けた実行プラン～」策定(東京都)

16年8月に小池百合子氏の都知事当選により、同年12月、東京都は「都民ファーストでつくる『新しい東京』～20年に向けた実行プラン～」を策定した。このプランは、17～20年度の4年間の政策の具体的な道筋を示したものである。セーフシティ、ダイバーシティ、スマートシティという3つのシティを実現するための政策を柱とし、その中でも20年の東京オリンピックに向けた事業として、テロ対策強化、ボランティア文化の定着、五輪開催機運の向上、暑さ対策、文化プログラムの展開等が提唱されている。さらに、3つのシティとは別に「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けた取組」を示し、前述した事業以外に大会競技会場の施設や選手村の整備、それらを活用したまちづくりの推進、バリアフリー化、交通ネットワークの充実といったハード面と、オリ・パラ教育、多言語対応といったソフト面での事業を進めていることとしている。

●築地市場の移転問題(東京都)

「築地市場の海鮮料理」は、公益財団法人日本交通公社による観光資源評価の「食」分野のA級資源であり、同市場はインバウンドにも人気の観光施設である。

同市場は35(昭和10)年開場で、施設の老朽化・狭隘化が深刻であったことから、01年12月に策定された「東京都卸売市

場整備計画(第7次)」で、豊洲への移転計画が正式決定されており、16年11月に移転開業が予定されていた。しかし、同年7月に東京都知事に当選した小池百合子氏が、8月に移転延期を発表、17年6月によりやく豊洲移転の基本方針が発表された。「築地は守る・豊洲を活かす」とのスローガンで、築地市場の跡地は5年後を目処に再開発して市場機能を持たせ、かつ「食のテーマパーク」を作ることが明らかとなった。一方、東京都の基本方針発表後、豊洲市場の場外に観光施設(飲食・物販施設、温泉付きホテル)を建設する予定の民間企業が撤退の意向を東京都に伝えている(17年7月時点)。これは、築地市場跡地に、前述したような観光施設が建設されれば、競合が激しく事業採算が見込めなくなる恐れがあるためと見られている。

なお、築地市場の豊洲への移転時期について、東京都は17年7月21日、18年春～秋で市場関係者と調整する方針を発表した。

●東京の水辺で社会実験クルーズがスタート(東京都)

東京都は、20年の東京オリンピックに向けて舟運を活性化させて、水辺の魅力を引き出し、舟運を「水の都・東京」にふさわしい観光・交通手段として定着させることを目指している。15年度に地元区や学識経験者、舟運事業者とともに「水辺空間活用(舟運)ワーキンググループ」を立ち上げ、16年度は羽田空港(天空橋)～浅草ルート、日本橋～有明ルート、天王洲～勝どき～日の出ルートという、臨海部や都心などを結ぶ3航路の社会実験クルーズを実施した。

この社会実験は、将来、民間事業者の事業として展開できる航路の創出や船着場周辺のにぎわい創出、船着場周辺施設とのつながりの強化に向けた具体的な取組を実施すべく、「東京舟運パートナーズ」が実施した。この組織は16年5月に舟運活性化パートナーとして東京都から選定され、関連事業の企画・実施、情報交換を目的に、旅行会社、鉄道会社、空港運営会社、広告代理店、通信会社等12社をメンバーとしている。20年まで

の今後5年間、東京都等の公的機関、地域住民、企業等と共に、東京の水辺エリアの活性化に貢献する組織としての活動を行う予定である。なお、同組織を母体として、一般社団法人水都創造パートナーズが17年3月1日に設立され、17年度の社会実験は同法人が実施している。

●「第2期埼玉県観光づくり基本計画」策定(埼玉県)

埼玉県は、国の掲げた「20年の外国人旅行者数4,000万人」という目標の下、全国各地で外国人観光客誘致の取組が強化されていることから、同県も国内のみならず海外からの観光客を視野に入れた「第2期埼玉県観光づくり基本計画」を17年3月に策定した。計画期間は17～21年度の5年間である。

同県では、17年度に「世界盆栽大会inさいたま」、19年度に「ラグビーワールドカップ」、20年度の東京オリンピックのゴルフ会場となることになっており、これらの世界的大イベントを外国人観光客誘致の機会と捉え、「外国人観光客100万人誘致」を3つの基本方針の1つに掲げている。他の基本方針は、「多彩な地域資源による個性豊かな観光地の形成促進」「SAITAMAブランドの確立による地域経済の活性化」である。

●秩父祭等が「山・鉾・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録

16年11月30日、アディスアベバで開催されたユネスコ無形文化遺産保護条約第11回政府間委員会にて、日本の「山・鉾・屋台行事」が人類の無形文化遺産の代表的な一覧表に記載されることが決定した。

すでに個別に記載されていた2行事を含む33行事からなり、関東では6行事が記載された(表IV-3-2)。毎年12月3日に催される秩父祭(通称「秩父夜祭」;埼玉県秩父市)は日本三大曳山祭の一つにも数えられ、開催日が週末に当たる年は25万から30万人が訪れる。16年はユネスコ無形文化遺産への登録が報道された直後となったこともあり注目度は例年以上に高く、過去最高の33万人弱が訪れたと見られる。各行事開催地において17年以降どのような形で遺産登録の影響が現れるか注目される。

表IV-3-2 「山・鉾・屋台行事」に記載された行事(関東)

行事名	保持団体	都道府県名	市町村名
日立風流物	日立郷土芸能保存会	茨城県	日立市
烏山の山あげ行事	烏山山あげ保存会	栃木県	那須烏山市
鹿沼今宮神社祭の屋台行事	鹿沼いまみや付け祭り保存会		鹿沼市
秩父祭の屋台行事と神楽	秩父祭保存委員会	埼玉県	秩父市
川越氷川祭の山車行事	川越氷川祭の山車行事保存会		川越市
佐原の山車行事	佐原山車行事伝承保存会	千葉県	香取市

資料：文化庁資料をもとに(公財)日本交通公社作成

●「峡南歴史・文化ツーリズム構想」策定(山梨県)

山梨県は県内を5圏域に分けており、峡南圏域は県南西部に位置する市川三郷町、富士川町、早川町、身延町、南部町の5町から成る。同県内への観光客数は、世界遺産「富士山」を有する富士・東部圏域が全体の半数近くを占めており、峡南圏域は5圏域の中で最も観光客数が少ない。

山梨県は、こうした観光客数の不均衡を課題ととらえ、また太

平洋と日本海を結ぶ中部横断自動車道の静岡県～同圏域エリアの開通が18～19年度に予定されているという機会があることから、同圏域の歴史・文化を核とした、「見る」「体験する」といった魅力と、稼ぐ力を高め、効果的・積極的なPR等による誘客の指針とすべく、「峡南文化・歴史ツーリズム構想」を17年3月に策定した。構想期間は17～19年度の3年間である。

●「新潟県観光立県推進行動計画」策定(新潟県)

新潟県は、「新潟県観光立県推進条例」に基づき、17～20年度の4年間を計画期間とする「新潟県観光立県推進行動計画」を17年3月に策定した。観光振興施策の実施にあたっての重点方針は5つあり、1つ目の方針として、20年の東京オリンピックの機会を活かした首都圏・関西圏からの誘客拡大が掲げられている。インバウンド誘致拡大に向けては、東南アジアや欧米などの新規市場も視野に入れ、国・地域別戦略の展開がうたわれている。

条例の目的の1つである「県経済の持続的な発展」を目指し、「観光旅行者の満足度を高める」「より多くの観光旅行者に何度も訪れてもらう」「より長く滞在してもらう」との観点から、数値目標を設定した。

②広域・市区町村レベル

●日光国立公園ステップアッププログラム2020

国は「明日の日本を支える観光ビジョン(16年3月)」において「10の改革」の1つとして「『国立公園』を世界水準の『ナショナルパーク』へ押し上げること」をあげた。そのために全国から8カ所の国立公園を選定し、20年を目標にインバウンド対応の取組を計画的・集中的に実施する「国立公園満喫プロジェクト」が推進されている。

関東からは日光国立公園が選定され、「日光国立公園ステップアッププログラム2020(16年12月)」では、同公園のコンセプト(基本概念)を「美しい『日本』を感じられる東京圏のプレミアムリゾート」とした。

4エリア・9つの重点取組地域(表IV-3-3)で地域特性に応じた取組を行いつつ、それらを広域的に連携、公園全体の魅力向上と公園利用者の増加につなげる。特に滝・渓谷・湖を堪能する水のアクティビティと多様な温泉を生かした魅力づくり、世界レベルの文化を有する歴史的国際観光地としての環境整備、東京から2時間圏で日本の自然・歴史・文化を体感可能な立地を生かした交通事業者との連携推進の3点が特徴的な取組であ

表IV-3-3 日光国立公園の重点取組地域

エリア	ビューポイント(重点取組地域)
日光エリア	世界遺産周辺
	中禅寺湖畔
	奥日光湯元
鬼怒川エリア	鬼怒川・川治温泉
	湯西川・川俣・鬼怒川
那須エリア	那須高原・那須温泉郷
	板室温泉
塩原エリア	塩原温泉郷
	八方ヶ原

資料：環境省資料をもとに(公財)日本交通公社作成

る。

欧米系個人旅行者に加えアジア市場の開拓を視野に入れるとともに、富裕層も含めより幅広い層をターゲットとし、数値目標として訪日外国人利用者数50万人、訪日外国人宿泊者数25万人(いずれも20年)を掲げている。

●オリエンタルランド開発計画の一部を見直し(千葉県浦安市)

東京ディズニーリゾート等を運営する株式会社オリエンタルランドは、14年に発表した開発計画の一部見直しを16年4月に発表した。14年に発表された目標は「23年までに(略)入園者を恒常的に3,000万人レベルとする」であるが、13～15年度の3期連続で3,000万人を上回ったことから、目標年度を20年度に前倒して実現するためである。同社は年間500億円規模の継続的投資により、新規エリア・新規施設の開発を行うほか、アトラクションやエンターテインメントプログラムの刷新・リニューアルを予定している。

東京ディズニーランドにおける最大投資は、「美女と野獣エリア」の新設で約320億円である。映画の世界を経験できる大型アトラクション、ショップ、レストランが設置される予定である(20年春導入予定)。東京ディズニーシーにおいては、海外のディズニー・テーマパークで高い人気を誇る大型アトラクション「ソアリン(仮称)」を約180億円かけて設置する予定である(19年度導入予定)。

また、同社は17年4月に新たな中期経営計画(17～20年度)を策定し、海外ゲストの受入体制整備への取組も表明している。

●東京湾ツーリズム旅客船運航実証実験を実施(千葉県・千葉市・船橋市)

千葉県は、千葉市・船橋市と連携し、東京湾の魅力海上から楽しむ新しい観光の創出に向けて、16年の7月下旬～9月中旬と12月末の2回、実証実験を行った。これは、20年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えた地方創生の一環として、東京と千葉を結ぶ水上交通ルート整備と観光資源の掘り起こし、観光ニーズ多様化の中での東京湾クルーズ等の可能性を調査することを目的としていた。旅客船運航と周遊観光ツアー(夏季のみ)を実施し、周遊観光ツアーは2コース(事前申し込み制)、各23日間設定、旅客船(乗合運航)は夏季4コース、冬季2コース、いずれも予約なし(当日先着順)で乗船が可能であった。

●東京マラソン2017 新コースに変更して開催(東京都)

07年に始まった東京マラソンは徐々に人気を広げ、フルマラソン申込者数は13年(7回目)以降は30万人超、ランナーも09年(3回目)以降は3万人を超えている。都心を走るコースが魅力だが、都心部の再開発が進み、またマラソンレースの高速化や車いすレースの国際化等、大会を取り巻く環境が変化しつつある。そこで、東京の素晴らしさを(国)内外にアピールし、かつ記録更新を狙える高速コースにするべく、17年大会からコースが変更された。スタートからしばらく(東京都庁～飯田橋)は16年と同じコースだが、飯田橋以降、神田～日本橋～浅草雷門～両国～門前仲町～銀座～高輪～日比谷～東京駅前・行幸通りと、途中からのコースとゴールが変更された。

●国立西洋美術館の世界遺産登録(東京都台東区)

16年7月17日、イスタンブールで開催された第40回ユネスコ世界遺産委員会にて、国立西洋美術館(東京都台東区)を構成資産として含む「ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—」が世界遺産一覧表に文化遺産として記載されることが決定された。日本国内で16番目の、東京都内では初の世界文化遺産となる。

スイス出身の建築家ル・コルビュジエ作品のうち、世界の3大陸7ヶ国にまたがる計17資産(フランス10、スイス2、日本、ドイツ、ベルギー、アルゼンチン、インド各1)で構成される「国境を越える世界遺産」である。

上野地区に関しては15年7月には「上野『文化の杜』新構想」が取りまとめられ、日本屈指の文化施設が集積するエリアとして20年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて国際的シンボルとして機能することが期待されている。国立西洋美術館の世界遺産登録は当構想を実現する上でも大きなインパクトを有すると考えられる。

●箱根ロープウェイ全線営業運転再開(神奈川県箱根町)

15年5～6月にかけて箱根山の噴火警戒レベル引き上げ、その後9月、11月と同レベルは段階的に引き下げられた(11月にはレベル1)。15年5月6日以降、箱根ロープウェイは全線運休であったが、同年10月には桃源台～姥子間が再開、16年4月には姥子～大涌谷間が再開、同7月には大涌谷～早雲山間が再開し、1年3ヶ月ぶりに全線の営業が再開された。

同ロープウェイを運行する箱根ロープウェイ株式会社は、火山防止対策としてゴンドラや駅舎内の火山ガス濃度計測や、ロープウェイ乗客にウェットおしぼり(口と鼻を覆う用途として使い捨て品)や4ヶ国語旅客配布チラシ(ウェットおしぼりの使い方を記載)を配布するほか、ゴンドラ車内に応急対応キット用ボックスを搭載し、全駅に救護室を設置して、乗客の安全管理を強化した。

●富士山世界遺産センターオープン(山梨県富士河口湖町)

山梨県は、富士山の総合案内所として「山梨県立富士ビジターセンター」を88年7月にオープンしていたが、世界遺産(13年登録)である富士山を訪れる多くの訪問者に対して、富士山の顕著な普遍的価値に関する情報発信や、保存管理の中心的な役割を担う施設として「南館」を新設した。ビジターセンターを「北館」と名称変更し、2館合わせて「山梨県立富士山世界遺産センター」として16年6月にリニューアルオープンした。

南館は、「文化」を中心とした展示施設(有料)であり、図書・資料室や多目的ホール等を有する。「ふじめぐり」という公式アプリ(多言語対応)をダウンロードすると、音声ガイド(日本語のみ)、展示品の文字解説、ARスコープが楽しめる。北館は「自然」を中心とした展示施設(無料)、インフォメーション(JNTO認定外国人観光案内所カテゴリー2)、レストラン、売店等を有する。

また、富士山総合学術調査研究事業も行っており、調査研究成果は、報告書や発表会で公開するほか、企画展等のセンターの事業活動に反映している。

(朝倉はるみ、堀木美告)